

遠隔授業 ガイドブック

ーオンデマンド型ー

- P1. オンデマンド型授業とは
- P2. 授業の進め方
- P3. 授業の準備
- P4. 教育効果を高めるために
- P5. 授業の工夫紹介

中京大学
教育推進センター

発行：2022年4月1日

オンデマンド型授業とは

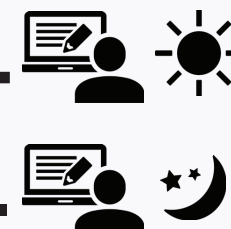
オンデマンド型授業とは、インターネットを通じて、**学生が各自のタイミングで学習を進める**授業形態です

教員



オンラインで教材等を配信

学生



各々の時間で受講・交流

また、文部科学省では、**授業後速やかに**

設問回答

添削指導

質疑応答

意見交換

これらを**毎回の授業で行うこと**としています。

参照：平成13年3月30日文部科学省告示第51号「メディアを利用して行う授業」について

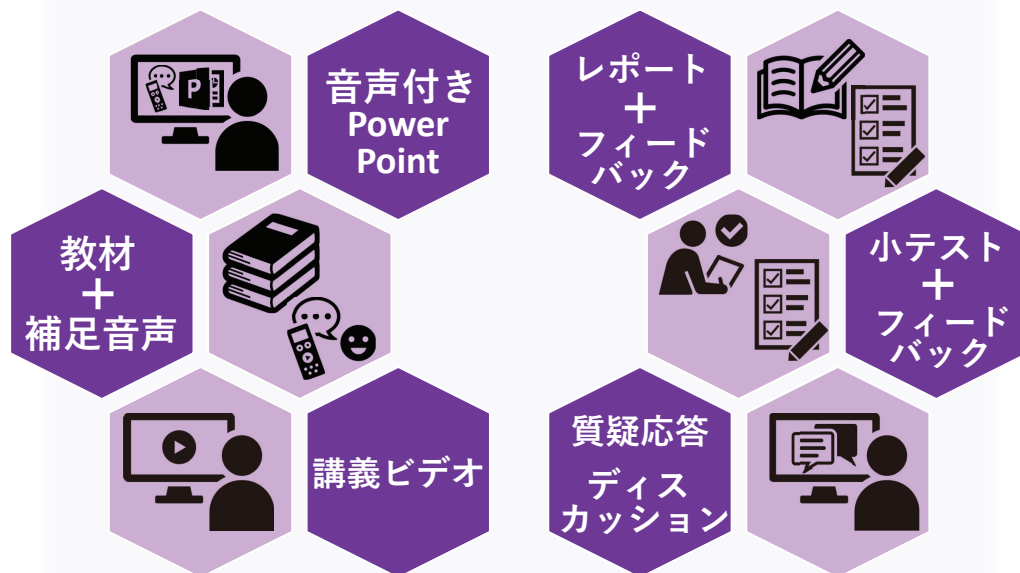
授業の進め方

オンデマンド型では学生が各自で学習をしますが、双方向性の確保も必要です。

講義



活動



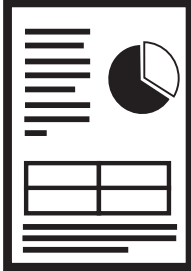


「講義」と「活動」の組み合わせは学修到達目標に応じて選択してください。

**単に教材を出すだけでなく
学生の学習に対するアプローチが重要です。**

授業の準備

基本的な3つのポイント

①教材を準備する

 <p>コラムなどの補足で「受講」の臨場感をプラス</p> <p>文字を少なく、図や表を使って見やすく</p>	 <p>音声はゆっくり、はっきり</p>	 <p>30min.</p> <p>動画や音声は1つにつき30分以内に</p>
--	---	--

②教育支援システム **CHUKYO MaNaBo** を活用する

 <p>レポート機能</p>	 <p>クイズ機能</p>	 <p>チャット機能</p>	その他にも様々な機能があります
--	---	--	-----------------

③学生に連絡する

 <p>課題や教材の期限をはっきりさせる</p>	+	 <p>確実な方法で伝える</p>	MaNaBoの「お知らせ」「メール」も活用できます
---	---	--	---------------------------

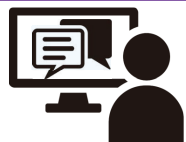
教育効果を高めるために

オンデマンド型の授業では、学生の反応が分かりにくいいため、より積極的な学生へのアプローチが必要です。

① 授業専用の教材を配信する



学生が自分で学習できる
穴埋め等の専用教材



チャットツールを利用した
ジグソー学習等のグループワーク

② 提出された課題にフィードバックする

学生の学習に対してコメントを返したり、優良な回答の共有などで学習を促進します。



+



課題と評価は
ワンセット

③ 質問やディスカッションの機会をもつ

オンデマンド型でもコミュニケーションは大切です。オンラインチャットツールなどは積極的に活用しましょう。



授業の工夫紹介

オンデマンド型授業を実践した先生方から寄せられた、授業の工夫を紹介します。

1 コミュニケーションの工夫

2 機材・通信環境等の準備

3 学生の通信環境への配慮

4 教材作成の工夫

5 教材配信に関する工夫

6 授業に参加させる工夫

7 理解促進のための工夫

8 理解度把握のための工夫

①コミュニケーションの工夫



MaNaBoのBoard機能で
受講生の質問と回答を
共有する



MaNaBoのForum機能で
フリーチャットを設ける



課題への優秀な解答や
よくある間違いについて
添削と解説を付けて全員に
匿名で共有する

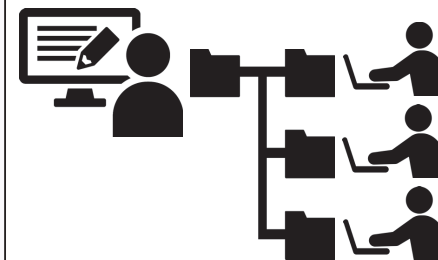


学生をグループ化し、
レポートの相互コメント
を行わせる

①コミュニケーションの工夫



MaNaBo内で場を設けて
質疑や感想へ丁寧・迅速に
回答する



課題の回答への
個別フィードバックを
全員に行う



コメントシートに書かれた
質問を資料に反映させ、
講義中に丁寧な回答をする



オンラインディスカッション
などを利用し、学生同士の
交流が必要な課題を設定する

②機材・通信環境等の準備



ツールは最新の状態にする



PCスタンドや
外付けキーボードで
身体的負担を軽減する

③学生の通信環境への配慮



サイズが大きい動画はネットに
アップしてURLで共有する



画像を低解像度にして容量を
小さくする



パワーポイントが閲覧できない
学生にPDFを配信する

④教材作成の工夫

資料作成



文字だけでなく
音声や映像を加える



色の識別が困難な
学生に配慮する



文字はレジュメにまとめ、
スライドは画像や図を
メインにする



聴覚が不安な学生向けに、
パワーポイントのノートに
音声と同じ解説を書く

動画作成



音声の終了が分かる合図音を鳴らす



動画や音声は必要箇所に絞り
1つずつを短くする



録音する際は抑揚に気を付けて
ゆっくりと話す

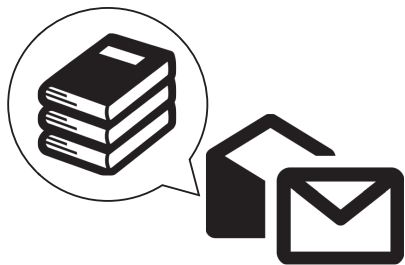
⑤教材配信に関する工夫



youtubeに限定配信形式
で配信する



著作権(教育財産)を守るため
ダウンロードやコピーが
できないMaNaBoの
Motion機能を利用する



教材を送信する際に、
教材と別に学生へメールで
「○○を送るので事前に
目を通すように」と伝える



資料提示を早めに行う

⑥授業に参加させる工夫



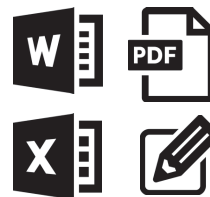
授業のポイントを確認する
課題を出す



授業内容と自身の考えの
両方が必要な課題を出す



課題は、長文の説明を求めるもの、
意見を求めるもの、クイズ形式など
メリハリをつける



レポート課題の提出方法を、Word、
Excel、PDF、手書きから学生個々に
選択させる



レジュメは事前に配信し、
講義時間に合わせて動画を
配信する



出席確認を兼ねた課題で、
解答と別に講義への意見を
求める

⑦理解促進のための工夫



専門用語を極力避ける



資料を多くし、
丁寧な音声説明を加える



No.1~No.15

全ての講義動画を
期間を限定せず公開する

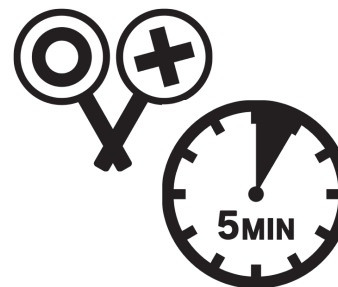


学生が苦手な部分を随時
勉強できるようYouTubeで
動画を配信する



定期的な学習のため、
課題の提出期限は次回
授業日の前日までにする

⑧理解度把握のための工夫



毎回、採点結果が
表示される時間制限有りの
小テストを実施する



毎回、授業のポイントなど
についての課題を出す



他の学生の質問とその回答
を見ることで復習や新たな
発見があるように、
質問への回答を受講生全員
に配信する



MaNaBoのQuiz機能で、
理解度や関心度について
中間アンケートを実施する



遠隔授業 ガイドブック

—オンデマンド型—

中京大学教育推進センター